

ANDRA LANTY  
S 27-55  
GA



神戸大学交響楽団  
第18回定期演奏会





# 第 18 回 定 期 演 奏 会

昭和 43 年 12 月 10 日

神 戸 国 際 会 館

指 揮 堀 宏 至

谷 口 浩

神 戸 大 学 交 響 楽 団

## PROGRAM

---

“Tragische ouverture” op. 81 ..... J. Brahms

Symphonie No.36 Cdur “Linz” ..... W. A. Mozart

Adagio-Allegro-Spritoso

Poco. Adagio

Menvetto

Presto

———— intermission ————

Symphonie No.4 Dmoll op.120 ..... R. Schumann

Ziemlich Iangsam-Lebhaft

ROMANZE, Ziemlich Iangsam

SCHERZO, Lebhaft.

Langsam-Lebhaft.

### Instrument

弦 樂 器 製 作 修 理

樂 器 修 理 專 門

橫 野

実

大阪市城東区野江西町 1-46  
TEL (931) 1230 番



## プログラム

悲劇的序曲 作品81……………ブラームス

指揮 谷口 浩

交響曲第36番 ハ長調 K.425「リンツ」……………モーツァルト

指揮 堀 宏 至

ゆるやかに — 速く活発に

ややゆるやかに

メヌエット

きわめて速く

————— 休 憩 —————

交響曲第4番 二短調 作品 120……………シューマン

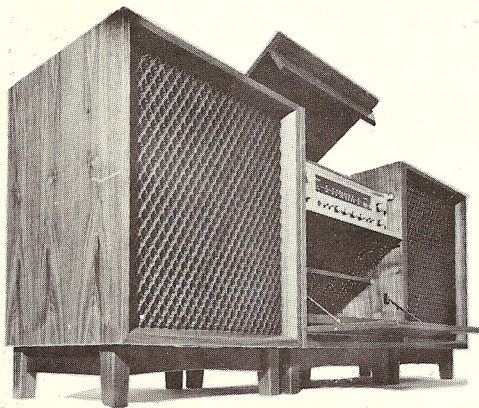
指揮 堀 宏 至

かなりおそく — 速く

ロマンス, かなりおそく

スケルツォ, 速く

おそく — 速く



## 部屋を選びません

ステレオの音は部屋の条件によってかなり影響されます。今度 Sansui から発売されるセパレートステレオ APS-1400, APS-1200 には、和室でも洋室でも (アコースティックコントロール) 装置を設けました。Sansui のセパレートステレオでは部屋を選びません。

世界の名器をあなたのお部屋に



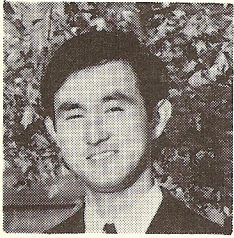
# サンスイ

神戸営業所 = 神戸市生田区北長狹通り5-22-3

☎34-4545



堀 宏 至



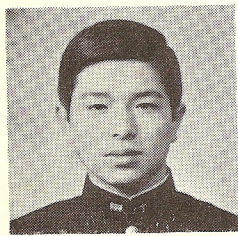
堀君は名門天王寺高校の出身で、高校時代は合唱をやっていたが、大学入学と共にオーケストラに入った。現在はチェロ族であるが、元来コントラバスの名手で、ベルリンフィル並みとの声もある。阪神間の主な大学にはすべて客演し、今年のNHK青少年音楽祭では阪神地区合同オーケストラでトップを弾いた。その演奏はテレビでヨーロッパへ宇宙中継されたから、そのうちベルリンからお迎えが来るかも知れない。彼はまた、たわむれにホルンを吹き、迷手級の腕を持つ。同じ管楽器でも、ホラを吹かせれば抜群の名手で、神オケの部員は皆被害者である。

大体がにぎやかなことの好きな男で、大学祭では模擬店そばオケラを出し、自ら初代亭主におさまる。制服を作ったときには、デザイン、服屋との交渉、更には資金の工面まで殆んど一人でかけ回っていた。練習が終ると皆を車で家まで送り届けてくれる。実際彼の運転は上手で、最も安心して乗れる。酒やタバコは余りのまないが、麻雀は大好きで、B級の上にランクされている。

このように一見陽気な彼が、一方で太宰治を愛読する。心のどこかでニヒルなものにひかれるらしい。大指揮者フルトヴェングラーを尊敬する彼の指揮振りは、最初、フルヴェンに似て判りにくかったが、近ごろはすっきりとし、判り易くなり、まとめるのも上手になった。ドイツ・オーストリアのロマン派を得意とする彼は、二年間の指揮者生活最後の演奏会に難曲に属するシューマンの4番を選んだ。彼の音楽に対する要求は、外見のやさしさに反して、厳しく、我々の拙ない技術ではとてもそのすべてを充たすことができない。が、彼のスコアの奥深く、作曲家の魂に触れた解釈の一端は、今宵の拙ない演奏を通しても充分客席に伝えられること、信じている。

(サボテン記)

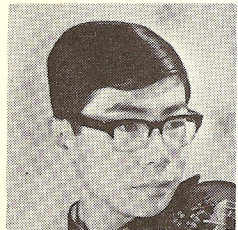
谷 口 浩



この人間ほど正体のつかめないのも少ない。というのは、反応がととても遅いのでマトモな神経ではついていけない。クラブではグズラと呼ばれているがうまくつけたものだと感心する。彼の本職は工学部だという噂もチラホラと、けれど内職に身を入れすぎて今やサブコンダクター。サブコンの最初の頃は“アタマから！”と“マルカートで！”を練習中ずっと怒鳴っていたが、近頃はその言葉も聞かれなくなった。しかしこの“悲劇的序曲”を練習し始めるや否や、部員がヒューヒュー泣く程の厳しい注文をつけ始めた。完璧を目指す彼の熱意は相当なものである。彼は故カール・シューリヒトを尊敬し、モーツァルトを好む。(マージャン、ビリヤード etc.も) 彼の今後の指揮の成長が楽しみである。

(N. T)

福 永 精 一



神戸高校時代にはオーケストラ部で2年生の時より2年間コンサートマスターを務めました。その経験は大学オケの中では貴重なものになっています。5才の時より始めたバイオリンは、近頃更に磨きがかかり冴え渡った音をたてています。

彼は音楽を教養としてではなく、楽しむものという環境で育ったためクラシックに限らず音楽一般に対して非常に幅広い理解を持っています。一方では謡曲や浄瑠璃を好み、また一方ではゴーゴークラブへ生演奏を聞きに行くこともあります。また楽器に対しても広く深い理解を持っています。オーケストラで使用される楽器はもちろん、三味線、尺八、琴まで手がけています。

また音楽面だけではなくクラブ運営の面でも部員間の潤滑油としてクラブになくてはならない存在です。部員総会などで議論が白熱して、皆が少し感情的になると、ユーモアたっぷりな言葉で皆を笑わせてなごやかな雰囲気に戻してくれたりします。

この様に人格、音楽両面に優れた彼は先輩からはかわいがられ信頼され、同輩には好かれ、後輩からは慕われ頼られています。